むがしあったけでおんな。
あるどこに、お寺あるけど。そごに、小僧こ二人いたしけど。したば、お寺のおっさんとおがさんど、
「小僧たち、早く寝れ寝れ」
と、早く寝せるけど。んだども小僧たち、寝たくねもんだすけど。なして小僧こどこ、早く寝ひるのだべったば、おっさんとおがさんと、小僧こたちとこ早く寝せで、酒のんで、モチあぶって食うんのだしけど。
小僧こたちまだ、なんだって食いたくて、毎晩、寝てからにらんでらけどよ。なんとかして俺らも酒のんで、モチ食いてもんだと、二人して思案したけど。
「ええ相談がある。明日の朝ま、おっさんに名前こ書いでもらう」
という相談であったど。次の朝起きて、
「おっさん、おっさん、俺らどこの名前こ書いでけれ」
ったば、おっさんまだ、
「ええ、ええ」
って言うっけど。
「なんと書くったば」
ったば、
「ええかんって紙こさ書いでけれ」
って、紙こさ書いでもらったけどよ。したば、もう一人まだ、
「俺どこ、ぷうぷうど書いでけれ」
って、ええかんと、ぷうぷうと書いでもらったすけどよ。
その晩になって、寝れというので、寝だんすけどよ。したばまだ、おっさんとおがさんとで、酒わがして、モチあぶって食うどこだけど。おがさんみんじゃ（流し場）にいで、
「ええかん、ええかん」
って、おっさんさ叫んだど。したば、
「はい、はい」
って、小僧こ起きて行ったど。
「なんだべか、おっさん」
って、小僧こも酒のんだど。酒このんで小僧こ帰ったば、こんだモチあぶったけど。モチ熟くて、
「ぷうぷう」
ってふいでらけど。したば、もう一人の小僧こ、
「はいはい」
って起きて行ったけど。
「なんだかおっさん」
ったば、
「いまモチあぶってらどこだ」
って、その小僧こまだ、モチ食べたど。
一人の小僧こ酒のんで、一人の小僧こまだモチくって、たいして喜んで寝たけど。
とっぴんぱらりんぷう。